

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/09/02 ～2022/11/02)

1. 勉学の状況

2022年9月2日よりカナダ東岸部ノバスコシア州ハリファックス市のセント・メアリーズ大学の心理学部に在籍しています。日本では2011年に医学部を卒業した後2020年より大学院医学部博士課程の認知行動生理学教室で学んでいましたが、この分野の研究のためには心理学、とくに統計学の知識が必要と分かり心理学を自学し始めました。現在は undergraduate におりますが自分が教科書で学んだことを英語でより深く復習し、意義あるものにできていると思います。受講しているクラスについて説明します。

- ① Introduction of Personality Psychology
- ② Introduction of Social Psychology
- ③ Research Method

①②は1年生向けの授業ですが教授が最新の論文を例にとりて説明することもあり Introduction とはいえ内容のしっかりしたものです。課題はオンラインで提出しますが心理学のセオリーを自分の身近な出来事に当てはめて考える形式のもので、他の生徒の回答を見るのがおもしろいです。Midtermのテストは選択肢問題でした。

③は2年生用の講義ですが、現在の私の経歴を伝えたところ受講許可を得ました。内容は基礎的ですが、英語で復習すると理解が深まり得られるものが多い授業です。やはり統計学は一回勉強しただけでは身に着かない（私だけかもしれませんが）学問だと思います。APAスタイルで模擬実験のレポートを作成するという課題の際には英語の添削のために Writing Centerに通いました。その他にも図書館の research デスクや上級生が下級生を教えるデスクなど、無料の学習のための resource が豊富にあり活用するようにしています。11月からは SPSS という統計ソフトを使う授業になり、今まで苦手意識があって避けていたものに着手せざるを得ず、いいきっかけになっていると思います。

日本の研究との両立が少し大変ではありますが、今のところ順調と思います。

2. 生活の状況

住居：自分のシングルルームあり、キッチンバストイレを一人のルームメイトと共有。古いけれど広々としてバスタブもあり、1セメスター（3か月）で約50万円（光熱費込み）は高額ながらも妥当と思われる。こうした恵まれた環境なのは運よくシニアアパートメントをおさえることができたからですが。アルコールフリー、24時間クワイエットエリアの階なので快適です。

食事：学生食堂はピザ・ハンバーガーなどが中心のジャンクフードなのでほとんど行かず基本自炊しています。物価も高く（日本の約2倍）、火曜日に学生が1割引きになるスーパーで食材をまとめ買いしています。Kijiji というカナダのジモティのようなサイトで炊飯器を譲ってもらったので毎日米をおいしくいただいています。

人間関係：インターナショナルスチューデントの友達ができ、食事を共にしたりジムに行ったりします。外食は高い上においしくないのを避けていますが、大学内に学生運営のクラブがあり安いのでよくみなで利用しています。

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/11/03 ～2023/03/03)

1. 勉学の状況

1月より新学期が始まりました。今回取っている授業は

- ① Psychological Statistics
- ② Intro to Developmental Psychology
- ③ Counseling

ですが、①は週 1.5 時間の Laboratory のクラスも付随しているため 3.5 クラスというところですが、①は 2 年生用の授業で基礎的であるものの、今までソフトウェアを使いながら表面的にこなしていた統計を、数学的公式の理解から始めて手計算で行えるようになり、嬉しいとにも楽しいです。Laboratory のクラスと連動しており SPSS も大分使えるようになりました。②は予想と異なり、心理学というより医学を浅く広くという授業で正直なところ面白くありません。③はなかなか英語についていくのが厳しいクラスです。ですが、クラスメイトとのロールプレイングなど積極的に参加するようにしています。

Counseling のクラスのグループワークでこのような事件(?)がありました。私が患者役、他の生徒がカウンセラー役となって練習をすることとなり、即興で自分の悩みを作り上げ演じたのですが、演技が上手かったためか他の生徒が私のことを本気で心配して教授にメールをし、教授から「大丈夫かい?もしよければカウンセリングセンターに繋がますよ」という趣旨のメールがきてしまいました。説明をし誤解をとくことができたのですが、無駄に心配をかけてしまって申し訳なかったなと思うと同時にカナダの人は優しいなと思いました。

他には、今夏、隣の Dalhousie 大学の Lab で Summer Internship をするために連絡をとっています。何もつてがないところからなので大変ですが、充実した夏にするため準備しています。

2. 生活の状況

インターナショナルスチューデントに加えカナダ人の親しい友達ができ、よりディープにカナダ体験をしているなと思います。それにより英語が上達したように思います。また週 1 回フードバンクでボランティアをしており、そこからも大学だけでは勉強できないカナダの側面を学んでいます。